

1枚の作成で複数台数の申請が可能です。(1台につき1枚ずつの作成はしなくてよい)

2台以上の複数台数を申請する場合は合計の台数を記載してください。

## 事業計画書

申請者(補助事業者) **神奈川 太郎**

### 1 貸与を受けるロボットの概要

製造元	株式会社〇〇	交付要綱別表2に記載のとおり、記入してください
ロボットの銘柄(型番等)	〇〇ロボット (XXROBOT)	
台数	2台	

### 2 補助金の額の算出

申請年度の3月末日までに支払いが完了する予定の費用のみ記載してください。

(単位:円)

経費の配分	金額(税抜)
ロボット本体の賃料(A) (※1)	140,000
付属品等の賃料(B) (※2)	10,000
工事費用(C) (※3)	0
介護保険給付額(D) (※4)	
補助対象経費(E)=(A)+(B)+(C)-(D)	150,000
補助対象経費の3分の1の額(千円未満切り捨て) (F)=(E)×1/3	50,000

本体価格(A)、付属品等の価格(B)が、ロボット代金見積書(第1号様式別紙2)と一致しているかご確認ください。(ただし、※1の下線部の場合を除く)

3分の1にしたとき、千円未満の端数が出た場合は、切り捨ててください。(例:160,000円÷3=53,333⇒「53,000」を記入)

(※1) ロボット導入代金見積書(第1号様式別紙2)の(A)の額。ただし、補助対象のロボットを申請者(別表1の2又は3に掲げる事業の場合は使用者)又はその関連会社が製造している場合には、交付要綱別表3により利益等を排除した額。

(※2) ロボット導入代金見積書(第1号様式別紙2)の(B)の額。

(※3) 介護保険と併用する場合、最終的な補助金の額の確定は、実績報告書に基づき介護保険給付額を差し引いた補助対象経費をもとに再算定します。

### 3 事業の着手及び完了の予定日

ア～エの着手予定日のうち最も早い日(※5)と、完了予定日の最も遅い日(※6)に○をしてください。また、その予定日を記入してください。なお、完了予定日は当該年度中(3月末日まで)である必要があります。

事業の着手予定日(※5)	事業の完了予定日(※6)
ア、設置工事の着工日 イ、ロボットの引渡日(納品日) ウ、代金(補助対象経費)支払の完了日 エ、ロボットの購入又は貸与に係る契約を締結した日	ア、設置工事の着工日 イ、ロボットの引渡日(納品日) ウ、代金(補助対象経費)支払の完了日 エ、ロボットの購入又は貸与に係る契約を締結した日
令和●年 ●月 ●日	令和●年 ●月 ●日

「〇月頃」ではなく、見込みで構いませんので、具体的な日付をご記入ください。なお、交付決定後に着手し、年度内に完了する事業が補助対象です。申請から交付決定まで概ね1か月程度要します。

